

令和7年度 学力向上のための重点プラン【小学校】 新宿区立鶴巻小学校

■ 学校の共通目標

授業作り	重点	各教科、総合、特別活動等において、児童の主体的な活動を引き出す指導方法の工夫
環境作り		みんなに分かりやすいユニバーサルデザインの授業（視覚化・焦点化・個別の支援）

■ 学年の取組について

学年	学習状況の分析 (各種調査から)	学校が取り組む目標 (日常の授業の様子から)	目標達成のための取組
1 学 年		- 基本的な学習習慣を身に付け、集中して取り組む時間が長くなるようにする。 - 平仮名・片仮名の学習では、字の形や筆順に注意して練習する。 - ブロックなどの具体物操作で、数の構成（合成と分解）を理解する。 - 個に応じた指導が必要である。	- 短く、簡易な言葉で指示することで、学習規律を理解させ、1ステップごとの集中を図る。 - 文字の学習では、筆圧と字の形、書き順を意識して練習する。 - 数の分解と合成や、計算・文章問題では、ブロックを使った操作で理解を促す。 - 個別の達成度を見取って指導する。
2 学 年		- 自分の言葉で考えを書くことができるようにすることが必要である。 - 音読を繰り返し行い、正しく読むことができるようにする必要がある。 - 文字を正しくていねいに行うことができるようにする必要がある。 - 問題文を最後まで読み、問われていることが何か理解できるようにすることが必要である。	- 教科書の視写や作文用紙を使った日記指導を定期的に行う。 - 図や具体物を用いて考えたことを自分の言葉で書く活動に取り組む。 - 繰り返し計算練習に取り組み、計算力の向上を図る。 - 問題を作る学習を通して、内容理解とともに様々な視点から問題を作る練習をする。
3 学 年	令和6年度学力定着度調査では、国語、算数ともに区平均を上回っている。 国語では、書き順と文学的な文章における前後関係を読み取る問題の正答率が低かった。丁寧な漢字の指導と、落ち着いて読み、問われていることを理解する練習が必要である。 算数は、場面をイメージし、その状況を説明して立式する問題の正答率が低かった。具体的な場面を想定する練習が必要	- 自分の言葉で考えを書くことが必要である。 - 読むことや書くこと、文意を理解することに時間がかかるので、練習が必要である。 - 場面の様子を考える活動を増やす必要がある。単位換算や計算の仕組みを適宜復習し、練習問題に取り組むことが必要である。	- 声に出して伝え合う、ノートに書く、ICTの活用など、表現する機会を多く設ける。 - 視写を継続して行い、文章の組み立てや表現技法・言葉のルールを身に付ける。 - 単位換算や計算の仕組みを適宜復習し、練習する。 - 朝学習の時間には、反復して漢字練習を行い、基礎学習の定着を図る。

	である。		
4 学 年	令和6年度学力定着度調査では、国語、算数共に区平均を上回った。 国語では、場面の様子を読み取って想定される発言を書くことや、文書のまとめの部分の空欄に入る言葉を書く問題での正答率が低く、読解の練習が必要である。 算数では、文章題の式を立てる際の正答率が低く、文章の意味を読み取る練習が必要である。	・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像できるようにすることが必要である。 ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもったり、共有したりする必要がある。 ・文章問題を読み正しく題意を捉えて、立式することができる。	・場面同士のつながりを意識し、関係を捉えやすいように全文読みで学習する。 ・場面と場面を比較させたり、人物の言動に着目したりして読む経験を積み重ねる。 ・問題文をなぞり読みし、分かっていることと聞かれていることを整理する。
5 学 年	令和6年度学力定着度調査では、国語は区平均を上回ったが、算数は区平均を下回った。 国語では、流された音声を聞いて何についての話かテーマを選ぶ問題と段落の役割を答える問題で、区平均を大きく下回った。説明文の読み取りを練習することが必要である。 算数では、2けた×2けたの計算と、円の弧から中心を求める問題で、大きく区平均を下回った。基本的な計算と図形の復習が必要である。	・落ち着いて話を聞き内容を理解することができるようにするために、話し方や聞き方のルールを徹底することが必要である。 ・文章の内容を適切にとらえる力を身に付けることが必要である。 ・漢字の部首を覚えることや書くことなど、基礎的な知識の定着が必要である。 ・かけ算やわり算の筆算、面積や円周の長さを求める公式など、苦手な単元や領域を克服することが必要である。 ・個に応じた習熟を促す必要がある。	・話す聞く際には、ルールを確認して意識を高めるようにする。 ・さまざまな言語活動を取り入れ、児童が主体的に読むことができる活動にする。ペアやグループでの活動を多く取り入れる。 ・基礎・基本の定着が不十分な児童には、達成度に合わせた個別の課題と支援を行う。 ・宿題や朝学習を活用して既習事項の復習を行い、定着を図る。
6 学 年	令和6年度学力定着度調査では、国語が区平均を下回ったが、算数は区平均を上回った。 国語では、漢字の書き、言語文化、文章の活用の記述式問題が区平均を下回り、漢字練習や語彙の獲得、作文の練習が必要である。 算数では、小数のわり算、概数に関する基礎問題が区平均を下回り、復習が必要である。	・漢字の部首を覚えることや書くことなど、基礎知識の定着が必要である。 ・自分の考えを読み手に伝わるよう根拠を示したり文章構成を考えたりして、書く力を付けることが必要である。 ・小数の計算、概数など、苦手な単元・領域を克服することが必要である。	・毎日二文字の漢字を熟語で繰り返し練習する。 ・読書活動を推進する。読書後には、短文で感想を書く。 ・デジタルドリルを繰り返し活用したり、家庭学習を充実したりして基礎知識の定着を図る。 ・タブレット端末を有効活用し、協働的な交流活動を通して充実を図る。
特 別 支 援			

